



大分県広域景観シンポジウム(日豊海岸エリア)

『くらしを豊かにする取組みと景観まちづくり』

2024年10月26日(土)

13:30-16:00
(開場 13:00)

会場 大分県庁 新館14階 大会議室 (大分市大手町3丁目1番1号)

プログラム

- 13:30- あいさつ
- 13:35- 広域景観の保全・形成指針について
- 13:40- 活動事例発表
- 14:50- パネルディスカッション
- 16:00 閉会

募集人数 100人 (定員になり次第、募集終了)

申込方法

大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課まで、電話、ファックス、メール、または左下のQRコードのいずれかで裏面の必要事項をご連絡ください。(ファックスの場合は裏面に記入し、この用紙を送信してください。)

※参加申込に際してご記載いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営の目的以外には使用しません。
また、本人の同意なく第三者に提供しません。

←左のQRコードを読み取ると、参加申し込みの入力フォームにアクセスすることができます。



参加
無料

お問い合わせ先：大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課 景観・まちづくり班
TEL：097-506-4672 FAX：097-506-1778 MAIL：a17510@pref.oita.lg.jp

コーディネーター



大分大学工学部理工学科建築学プログラム 准教授

姫野 由香氏

○大分県広域景観保全・形成指針策定委員会 副委員長、大分県環境審議会委員

建築・都市計画技術を応用した持続可能な地域創生を専門とし、景観まちづくり、持続可能な観光政策、中心市街地再生、離島振興と幅広い分野で活躍。著書に「住民主体の都市計画」（学芸出版社）、「住み継がれる集落をつくる」（学芸出版社）ほか。

《パネルディスカッション》

それぞれの地域で暮らしながら、地域づくりに貢献されているみなさんに、事例発表をしていただき、その活動事例を題材にパネルディスカッションを行います。

日豊海岸エリアの特徴は、南北方向に延びるリアス海岸や離島と漁村景観を形成する個性ある浦・漁港が連なる景観です。日豊海岸エリア周辺でそれぞれの団体が行っている活動が、どのように“景観”と結びついているのかを姫野先生に紐解いていただき、広域景観の保全・形成の重要性を考えることができる機会にしたいと考えています。

パネリスト

(株)テイクファイブ 代表取締役会長

早瀬 康信氏



空き倉庫や放置ゴミなどによって地域住民が寄りつきにくい場所であった西大分港に「かんたん港園」を整備した。そこでは、起業家育成のための「かんたんサーカス」や、フードフェスタ、ガーデニングフェスタ等、地域活性化に向けて様々な企画に取り組んでいる。

(一社)白杵市観光協会 理事

中野 重二氏



「白杵観光ナビ」を立ち上げ、地域の埋もれた観光資源を発掘、PRすることで地域の魅力を発信している。さらに耕作放棄地を花畑へと変化させたり、かつて海水浴場として賑わっていた「黒島」のPRを積極的に展開したりすることで、多くの観光客を呼び込んでいる。

喫茶チパータ 店主

今村 祐美氏



移住フェアを通じて県外から津久見市へ移住する。移住後は地域おこし協力隊として耕作放棄地を利用した綿とハーブの栽培などを行っている。また、現在では、津久見市セメント町で空き家を活用した喫茶店をオープンし、地域住民や観光客の憩いの場を提供している。

(株)マツオカ 常務取締役

廣瀬 克樹氏



材木業の傍ら、佐伯市葛港の魚市場にて「佐伯港街パル」を2度開催する。木材を使った300席のテーブル・カウンターと裸電球で会場を装飾しジャズの生演奏とともにパエリアやワインなどを楽しめるイベントで延べ8,000人が来場。大分の地域活性化に向けて取り組んでいる。

令和6年度 大分県広域景観シンポジウム参加申込書

氏名 _____ お住まいの市町村 _____

所属（職業） _____

連絡先 電話： _____ FAX： _____

_____ メールアドレス： _____